

陳情番号	件名
第 1 号	リニア中央新幹線について
受理年月日	
25.2.6	

陳情の趣旨
<p>< 陳情趣旨 ></p> <p>ご承知のごとく、昨年 2 月に黒岩県知事と加山市長による共同記者会見でリニア中央新幹線中間駅誘致の候補地として J R 橋本駅南口に位置する県立相原高校の敷地と言及されました。そのリニア計画に疑問を持つ私たち市民は、個人・団体が集まり昨年 3 月に「連絡会」を発足し、学習会、見学会、交流会を重ねてきました。</p> <p>しかしリニア中央新幹線計画に伴う深刻な諸問題に対し、推進期成同盟に加盟してきた相模原市は、いまだに市民に対して十分な情報提供と市民が納得できる説明責任を果たしているとは思えません。</p> <p>今年秋の環境影響評価準備書の提出や来年の着工に向け、ボーリング調査など水面下での動きが進行しています。</p> <p>相模原市議会は以下の疑問点を明らかにし、市民が安心できるよう市へ働きかけて情報公開を進めることを望み陳情します。</p> <p>< 陳情項目 ></p> <p>1 . リニア中央新幹線中間駅誘致並びに車両基地建設については、市民生活に多大な影響を与えるにもかかわらず、市民が納得できる十分な情報提供と説明がなされているとはいえません。その危惧を払拭するためにも専門家を呼んだシンポジウムや懇談会など情報を明らかにする議論の場を持つよう市当局に働きかけてください。</p> <p>2 . これらの疑問点を市民に直接明らかにするために国、J R 東海、神奈川県、相模原市の 4 者が出席し、質疑応答を十分に保障した説明会を開催して市民の不安が解消されるように市当局に働きかけてください。</p> <p>(疑問点 1)</p> <p>相模原市がリニア駅を誘致する目的とされる経済波及効果の具体的根拠を明らかにしてください。神奈川県では三菱総研に依頼して経済波及効果の見積もりを行っています。相模原市としてはどのように考えているのか具体的な説明がなされていません。</p> <p>またリニア中間駅および車両基地建設に伴う周辺施設の整備・維持・管理に伴う市財政の負担は、どの程度が見積もられるのか明らかにしてください。</p> <p>駅舎は J R 東海の負担で建設することが明らかにされていますが、周辺施設や用地買収に伴う市財政の出費はどの程度見積もられるのか明らかにした上でなければ建設を推</p>

進すべきかどうか判断できないのではないのでしょうか。

今、市財政の逼迫に伴い公民館有料化など市民生活に直結した教育・民生費が削減されようとしています。市民生活にどのような影響を及ぼすのか明らかにしないままにリニア計画を推進するのは市民生活を守り向上させるべき市政の役割と逆行しているのではないのでしょうか。

(疑問点 2)

リニア駅候補地としての「相原高校」の移転計画に伴う教育環境、自然環境の損失について移転が本当に必要なことか、どうでしょうか。

また中間駅候補地の橋本駅はターミナル駅として重要な場所です。相模原市は直下型地震に対し、どのような対策をとるのでしょうか。相原高校は一昨年の中日本大震災時には800人の帰宅困難者を受け入れました。県の広域避難場所でもある相原高校の移転は、まちづくりにとって防災拠点を失うこととなりますがどう担保するのか示されていないまま移転計画のみ進められているではありませんか。

(疑問点 3)

車両基地建設に伴う貴重な自然環境の破壊、ことに水資源への影響についてどう対処されますか。旧津久井郡の道志川水系は神奈川県全体の水資源としても重要な位置を占めています。潤水都市を謳う相模原市として環境破壊が懸念されるこの問題をJRまかせにしておいてよいのでしょうか。

さらに超電導磁石を用いるリニア新幹線が発生する電磁波の周辺住民の健康への影響が懸念されますが十分な情報開示がなされているとはいえません。

また地下中間駅とトンネルの掘削に伴う大量の残土の処理についてどうするのでしょうか。かつて多摩丘陵開発で大量の残土が藤野の山野に投棄されたこともあり、市民は非常に心配していますが、それについて市はどう担保するのですか。

(疑問点 4)

ルートの8割がトンネルというリニア新幹線が事故などの際に乗客をトンネル内からどう避難・救出するかという安全対策が具体的に明らかにされていません。

公共輸送機関のもっとも大切な乗客の安心・安全についてJR東海まかせにするのではなく、相模原市当局はその安全性を確認すべきではないのでしょうか。